

この時期に研修が必要か？

「〇〇Aは指定席誘導をしています。自由席の乗車率は140%です」夏季安全・安定輸送期間中の常套句だ。対策本部設置期間の8月9日から8月19日までは多くのお客様が新幹線を利用するため、毎日400本以上の列車が運行される。当然、乗務員もフル稼働だ。そんな超忙しい中、8月14日から運転士研修が始まり、東一輸では10名の方が最前線から離脱した。何でお盆のこの時期に研修を始める必要があるのか？皆さん不思議に思わないか？研修に行く10名中9名は車掌長で、当然車掌長が足りなくなる。車掌長や列車長は休日勤務を強要・・・じゃないお願いされているのでは？無理をせず休む時は休まないと、体調を崩してしまうよ。

私たちは年休取得に向けて、会社を相手に裁判で闘っている。会社は裁判所で「乗務員の要員は十分に配置しています」と主張しているが、職場ではほとんど年休が発給されていない。そんな時期に研修を設定することに矛盾を感じる。

そういえば本部長から陣中見舞いで、ポカリとゼリーが配布されている。過去にはなかった事で全職場に配布するとなると大盤振る舞いだね。うれしいのだが「休まず・体調不良にならず・文句も言わず協力しろ」と言うのであれば、ちょっと安い陣中見舞いだな～。